特色 1

ともに学ぶ力・深く学ぶ力を育む内容構成の工夫

1 見通し・振り返りの学習活動に取り組みやすい内容構成

good

内容のまとまりごとの見通し・振り返りの学習場面をいっそう充実させ，主体的・対話的で深い学びを実現しやすい構成にしました。一連の学習活動を通じて，より深い理解を促すことができます。

1 章の学習を見通す導入ページ「学習のはじめに」

漫画やイラストを多用した親しみやすい資料の読み解きや活動を通じて，学習への生徒の興味・関心を喚起します。これから学習する**章全体の内容**や**学習のねらい**，学習する際の**視点**を捉えます。

◀ p.38-39

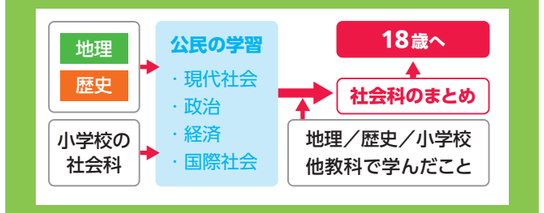
次の　章へ

章の　流れ

1 導入ページ

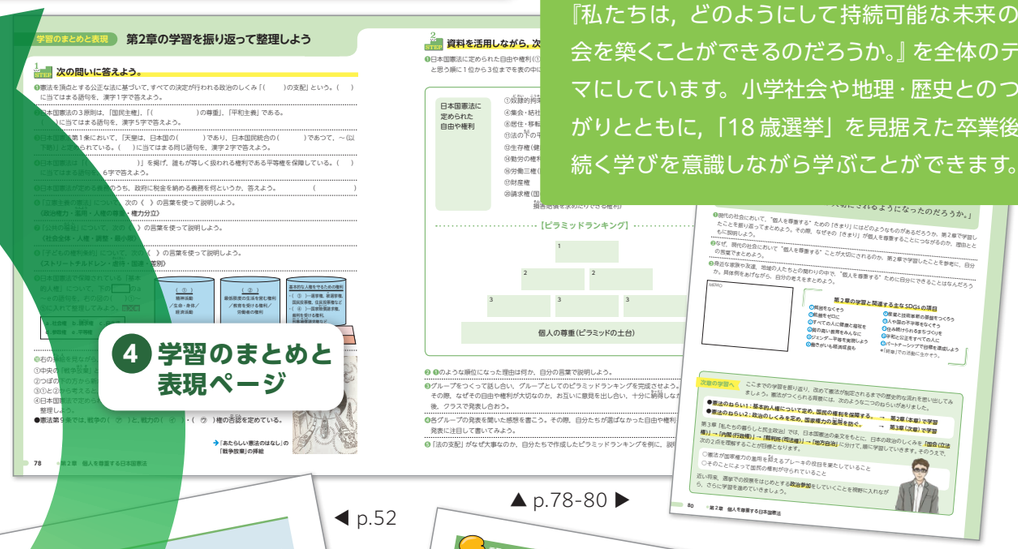
4 章・節の学習を振り返る「学習のまとめと表現ページ」

各章の終わりに設けた，章全体の学習を振り返って整理するコーナーです。基礎・基本の定着を図る「**STEP 1**」，思考ツールなど資料を活用して課題に取り組む「**STEP 2**」，章全体の「問い」に対して自分なりに答える「**STEP 3**」の3段階でのまとめと，次章への準備が確実に図れます。



公民学習の見通し

『私たちは，どのようにして持続可能な未来の社会を築くことができるのだろうか。』を全体のテーマにしています。小学社会や地理・歴史とのつながりとともに，「18 歳選挙」を見据えた卒業後も続く学びを意識しながら学ぶことができます。



4 学習のまとめと表現ページ

▲ p.78-80 ▶

◀ p.52

◀ p.68

3 特設ページ

5 変わる産業と貿易

学習課題　東南アジア各国の人々の暮

見通しを示す「学習課題」

これから1時間の学習で何について追究していくのかを明確にします。

p.48-49 ▶

確認　東南アジア諸国連合のかべて，表にまとめよう。

表現　資料 4 を参考に，輸出からどのように人々の暮化してきたか，まとめよう。

「確認」：本時で学習したことを確認し，整理します。

「表現」：学習したことを活用し，自分の言葉で表現することから，深い学びを導きます。

2 本時ページ

2 「本時ページ」

見開き2ページ＝1時間の構成で，見開きごとに「学習課題」（学習の見通し）と，「確認／表現」（振り返り）を設け，生徒の主体的な学習を促します。

3 視点を変えて学習内容を捉えなおす「特設ページ」

本時の学習内容と関連を図りながら，さらに一歩進める**今日的な課題**をテーマにした特設ページを，多数設定しました。

2 思考・判断・表現する場面を位置づけた，学習の流れがわかりやすいページ構成

見開き2ページ=1時間の授業展開で学習の見通しを立てやすく，本文と資料のバランスを考えた紙面です。生徒が自ら学べるよう，資料を読み解く手がかりも示しています。

1 1時間の学習を見通す「導入」

生徒の興味・関心を高め，学習のきっかけとなる写真・地図などを導入に位置づけました。
キャラクターの言葉や「**LOOK!**」は，導入資料をサポートします。

LOOK!
導入資料を解説することで，先生の授業を助け，生徒の自学自習にも役立ちます。

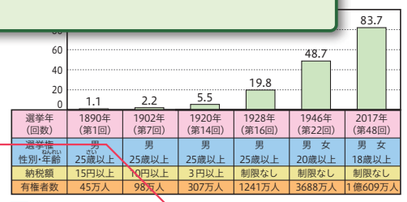
キャラクターの言葉
導入資料の見方のヒントになります。

2 学習課題？ 学習内容を自分事としてとらえる「学習課題」

タイトルには，学習内容についてイメージを膨らませる**主題**，学習事項を端的に示した**副題**を明示しました。
学習課題では，この1時間の授業の見通しをわかりやすく示し，学習意欲を高めます。

資料番号 1，2，3…
本文と資料の関連を番号で示しています。本文を読みながら資料を結びつけることができ，学習が深まります。

1 初めて投票する10代の人たち
（2016年 福島県）



選挙年（回数）	1890年（第1回）	1902年（第7回）	1920年（第14回）	1928年（第16回）	1946年（第22回）	2017年（第48回）
選挙権 性別・年齢	男 25歳以上	男 25歳以上	男 25歳以上	男 25歳以上	男 女 20歳以上	男 女 18歳以上
納税額	15円以上	10円以上	3円以上	制限なし	制限なし	制限なし
有権者数	45万人	98万人	307万人	1241万人	3688万人	1億609万人

2 衆議院議員選挙における選挙権の拡大

LOOK!
2016年の参議院議員選挙から，およそ240万人の18歳と19歳に，初めて選挙権が与えられました。少子高齢化が進む日本の「高齢者中心の選挙」への対処とともに，これからの時代をつくる若い世代の有権者を増やし，政治への関わりを進めようという政策です。

3 18歳選挙権と私たち ▶これからの選挙制度

学習課題？ 選挙にはどのような課題があり，どのように解決が目ざされているのでしょうか。

1 2018年6月21日より，20歳以上から18歳以上に引き下げられました。

国名	選挙権*	被選挙権*	成人年齢
アメリカ	18歳	25歳	18～21歳
イギリス	18	18	18
フランス	18	18	18
韓国	19	25	19
日本	18	25	20（2022年4月より18）
ブラジル	16	21	18

*下院（韓国は一院制）の年齢。日本は衆議院。（2019年1月現在）

3 各国の選挙権年齢，被選挙権年齢，成人年齢

	これまで	解禁後
選挙期間中の街頭演説会告知	選挙カーによる音声，電話など	SNS，ホームページなどで告知可能
動画配信	禁止	演説会の様子を配信できる
メールによる投票呼びかけ	禁止	候補者と政党に限って認められる

4 インターネット選挙の解禁で可能となった選挙運動

選挙権の拡大

公職選挙法が改正され，2016年から「**18歳選挙権**」が実現しました。[1] 選挙権年齢を20歳以上から18歳以上に引き下げることは，日本では1945年以来の選挙制度の大きな改正となります。アメリカ，イギリス，フランスをはじめ，世界のほとんどの国では，すでに選挙権が18歳以上に引き下げられていましたが，[3] 今回の改正はその流れに沿うものです。憲法改正のための国民投票の投票権年齢が18歳以上になったことと合わせ，[2] 若い世代の政治参加への道が広がることになりました。

←p.45

少子高齢化が進む中，若い世代の声を政治に反映させることは大きな課題です。若い世代の人たちが，今後どのように政治的な行動をとっていくのかは，日本の将来にとって重要な意味をもつことになります。[4]

選挙の課題

しかし，18歳選挙権が実現したにもかかわらず，[5] 若い世代の投票率はけっして高くありません。10代が初めて参加した2016年の参議院議員選挙では，20代の投票率に比べれば高いものの，全体の投票率の54.7%には及びませんでした。また，全体的に見ても，投票率は長期的に低下しています。

関連　小学校　憲法とわたしたちの暮らし（6年）

4 読み解こう

思考・判断・表現する力を育む「読み解こう」

本文の流れに即し，資料を丁寧に読み解きながら考察する学習を重視しました。写真・地図・グラフなどの多様な資料の読み解きについて，問いを手がかりに取り組むことができ，**資料を活用する力**が身につきます。

読み解こう
❶一票の格差は，最大で何倍の差があるだろうか。
❷一票の格差があることは，どうして問題なのだろうか。
❸このような格差を解消していくためには，どうしたら良いだろうか。見×考

＊ここでは，3章の「見方・考え方」を活用して考える力の養成にも，役立つ内容になっています。

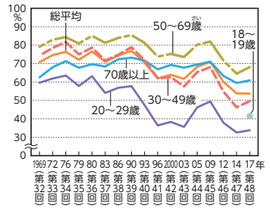
◀ p.88-89

公民の窓　広がる期日前投票制度

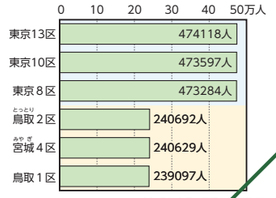
近年，選挙での投票率を上げようと，各地でさまざまな試みが広がっています。その一つが，期日前投票制度の運用です。仕事や冠婚葬祭など，一定の理由で投票日に投票することができない場合，投票日の前日までの間に投票ができるという制度です。大型のショッピングモールや鉄道の駅など，人が多く集まる場所に投票所が置かれることが多いですが，有権者となった学生が授業や講義の合間にも投票できるよう，高校や大学の構内に投票所を設けるケースも増えています。また，高齢化や過疎化が進む地域では，投票所まで行くことが難しい有権者のために，ワゴン車による「移動期日前投票所」を導入する試みも始まっています。

大学のキャンパス内の投票所
（2017年 佐賀県佐賀市）

ワゴン車での移動式の投票所
（2016年 島根県浜田市）



5 衆議院議員選挙の年齢別投票率の推移



6 衆議院議員一人当たりの有権者数

衆議院議員選挙の投票率でも，同じような結果が示されています。

投票率が低下するのは，政治への関心がもてないことや，関心はあっても投票したいと思う候補者や政党が見つからないことなど，さまざまな理由があります。しかし，投票を棄権することは，[2] 自らの大切な権利を放棄するばかりでなく，選挙や議会の決定への信頼性を低下させることにもつながる危険性があります。

一票の格差の問題

また，選挙区によって一票の価値が異なることも，[6] 選挙制度の問題点として指摘されています。選挙が国民の意見を正しく反映するためには，一票の価値が平等であることが大切です。ところが現在の日本では，議員一人当たりの有権者数に，およそ2倍の差がある選挙区が存在します。このような「一票の格差」は，解消していく必要があります。一方で，人口が減少する地域の声をどのように国政に反映させるかといった課題も残っています。[1] 一人でも多くの国民の声を政治に反映させるために，より良いしくみづくりの模索が続いています。

p.116→

SDGs ⑪持続可能な都市／⑯平和

読み解こう
❶一票の格差は，最大で何倍の差があるだろうか。
❷一票の格差があることは，どうして問題なのだろうか。
❸このような格差を解消していくためには，どうしたら良いだろうか。見×考

❷世界には，国民に対して投票を法律で義務づけている国もあります。例えば，オーストラリアでは，正当な理由もなく投票を棄権すると，罰金として約2000円を支払わなくてはなりません。

確認！ 投票年齢が20歳から18歳に引き下げられたことには，どのような意味があるか考えよう。

表現！ 投票率を上げるにはどうしたらよいか，他の国の例を参考に考え，意見を交換しよう。見×考

1.政治　2.三権　3.地方

5 本時の振り返りとして，❷の学習課題と対応させた「確認」と「表現」

この時間で学習したことを基に，**「確認」**では基礎的な事項の確認と整理，**「表現」**では社会的事象や課題などに関わる説明や話し合いなどの表現活動と，段階的に振り返りながらまとめることができ，学習が深まります。

確認！
本時の学習の中で，重要な語句などに着目しながら，基礎的な事柄をしっかりおさえます。

表現！
本時の学習を振り返り，言葉で表現したり，対話したりすることで深い学びにつなげます。

3 読んでわかる，授業しやすい「本文」

読みやすく，わかりやすい文章で，生徒の社会的事象への理解を深めます。生徒が**「わかる」記述**は，授業中はもちろん，自ら学ぼうとする場面でも，基礎・基本の定着にも役立ちます。

6 学習内容と関連する「SDGsの表示」SDGs

＊本資料p.10参照。

7 ページ番号の横に示した「章・学習パート（節）の表示」

いま，どの章の中のどの節の学習をしているのか，**学習の現在地**を示します。

特色 2

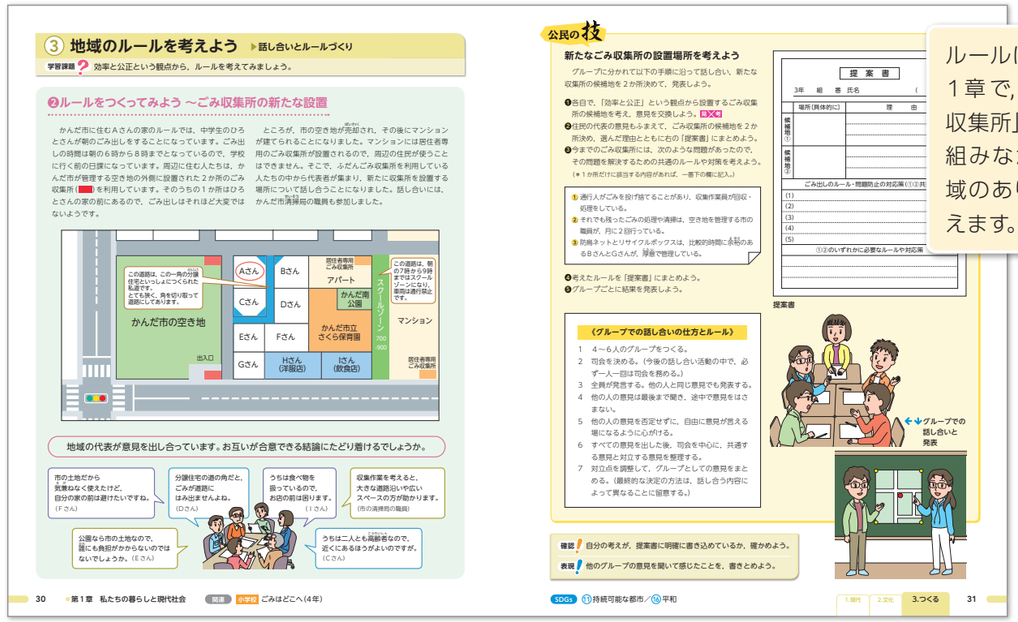
持続可能な社会の実現に向け，課題解決に取り組むことができる内容の充実

1 主権者として社会に参画する意識を高めることができる教材・内容

生徒が，自らも社会を形成していく市民の一人であることへの自覚，責任ある主権者として社会に参画しようとする意識や，持続可能な社会の創造を目ざそうとする意欲を高めます。

「地域のあり方」を考える

地理や歴史での学習を振り返りながら，自分たちが暮らす身近な地域を改めて見つめ直し，地域社会がもつ**課題**を解決する方法を**考察・構想**していきます。こうした学習を通じ，公共の精神が芽生え，主体的に社会の形成に参画し，その発展に寄与する態度が養えます。



ルールについて学ぶ第1章で，地域の「ごみ収集所」の設置に取り組みながら，身近な地域のあり方について考えます。

◀ p.30-31

社会保障について学ぶ単元で，誰もが暮らしやすいこれからの社会のあり方を，地域での暮らしに焦点化して考えを深めます。

p.176-177 ▶

特設ページ

2種類の特設ページ（さまざまな表現活動を行う「**言葉で伝え合おう**」／資料を読み深める「**読んで深く考えよう**」）を中心に，社会の“いま”に鋭くせまることができる，今日的なテーマを豊富に紹介しています。本時の学習と無理なく関連を図りながら，活用することができる紙面構成です。

言葉で伝え合おう

多様な表現活動に取り組みながら，表現力を高めます。

▼ p.186-187

p.68 ▶

読んで深く考えよう

多様な表現活動に取り組みながら，表現力を高めます。

さらにステップアップ

さらにもう一段階，活動や考察の深化を促します。

〈特設ページ・ラインナップ〉

「言葉で伝え合おう」（6テーマ）

◇「新しい人権」を考える　～ディベート（第2章）…… p.68
◇メディアリテラシーを学ぼう　～情報の入手と活用（第3章）…… p.94
◇もしも裁判員裁判に参加したら
　～シミュレーション（第3章）…… p.110
◇まちづくりのアイデアを提言しよう
　～プレゼンテーション（第3章）…… p.122
◇起業にチャレンジしてみよう　～計画の立案（4章）…… p.146
◇誰もが「生きづらさ」を感じない社会について考えよう
　～レポートの作成（5章）…… p.178

「読んで深く考えよう」（6テーマ）

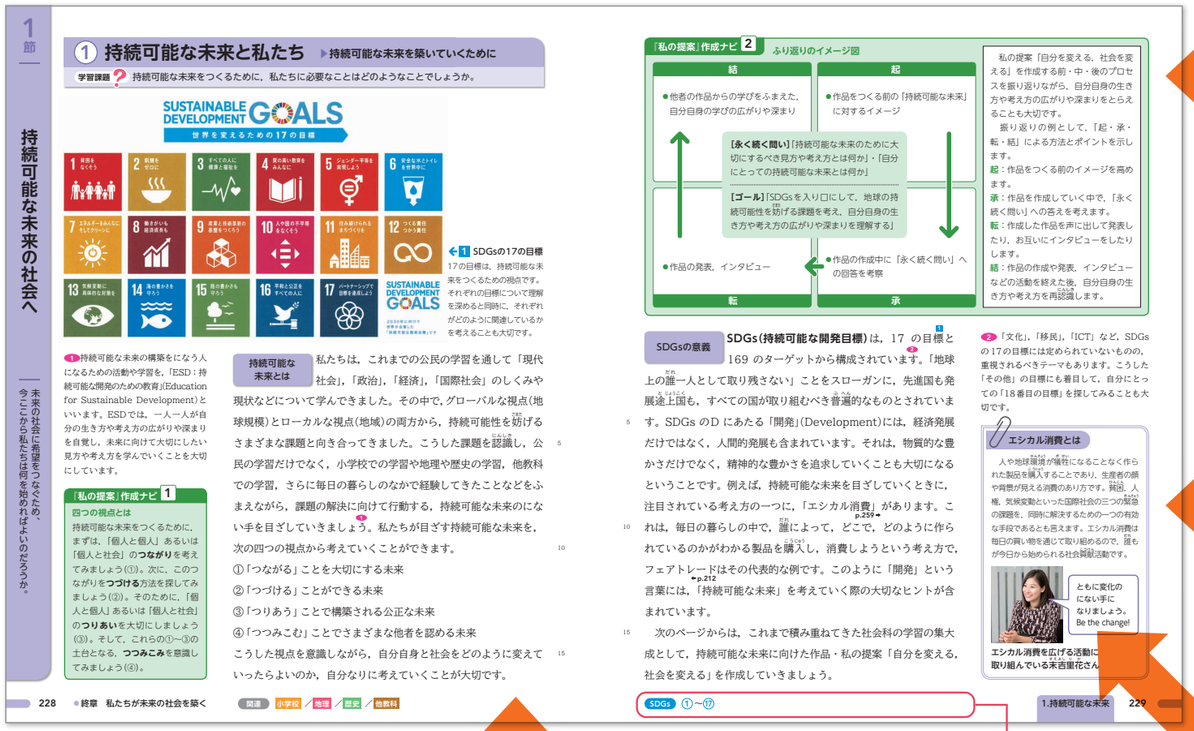
◆つなげたい，
　日本の伝統と文化（1章）…… p.24
◆ともに生きる社会を
　目ざす人たち（2章）…… p.52
◆平和主義のこれまでとこれから（2章）…… p.76
◆貿易がもたらすもの（5章）…… p.186
◆日本の外交の今とこれから（6章）…… p.198
◆持続可能性を妨げる，
　さまざまな課題（6章）…… p.222

2 社会的な課題を多面的・多角的にとらえ，考察することができる教材・内容

生徒が，現代や過去の社会的事象について，資料を的確に活用しながら多面的・多角的に考察することができ，情報を批判的に読み解いて公正に判断する力を養えます。

「私の提案」作成に向けて

終章（p.228より）では，これまでのすべての学習を活かし，**SDGs（持続可能な開発目標）**の視点をもって地球規模の課題と向き合い，解決方法を探ります。完成した「私の提案」を，他者との対話によって広げ深めていくことができます。「終章」に向けてすべてのページが有機的につながり，かかわり合いながら学習が進みます。



▲ p.228-229

公民的分野とSDGs

新しい公民教科書では，「**『SDGs（持続可能な開発目標）』の17の目標の達成に向けて，いま私たちに何ができるか**」を大きな柱の一つに据え，構成しています。教科書の中で扱うさまざまな教材とSDGsとの関連が有機的に図られ，これまで以上により深く「持続可能な未来」を意識した学習を進めることが可能です。

◀ Ⅰ-Ⅱ

国際社会全体で取り組まれているSDGsを，公民学習全体に関わる大切な視点として，巻頭で紹介します。

◀ p.222-223

終章に入る前に，国際社会が抱える課題をもう一度振り返って整理し，培ってきた公民的分野の「見方・考え方」の視点で見つめ直します。

◀ p.193

身近な暮らしの中で，SDGsへの理解や取り組みへの意識が深まる「カードゲーム」を紹介しています。

第２章の学習と関連する主なSDGsの項目

①貧困をなくそう
②飢餓をゼロに
③すべての人に健康と福祉を
④質の高い教育をみんなに
⑤ジェンダー平等を実現しよう
⑧働きがいも経済成長も
⑨産業と技術革新の基盤をつくろう
⑩人や国の不平等をなくそう
⑪住み続けられるまちづくりを
⑯平和と公正をすべての人に
⑰パートナーシップで目標を達成しよう
＊「終章」での活動に生かそう。

◀ p.80

good

▼ p.51

SDGs ⑤ジェンダー／⑧経済成長と雇用／⑩不平等

各章のまとめのページに「SDGs関連コーナー」を設け，その章の学習で関連を示したSDGsの項目を再掲しています。

本時の各時間の学習内容と関連するSDGsの項目を紹介しています。